

令和1年度 学校評価結果公表シート

学校法人 清香学園
認定こども園うらら幼稚園

1、本園の教育目標

・人格形成の基礎として本園のめざす子ども像

1. 素直な明るいよい子
2. 少しがまんの出来る子を重点目標にする

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

自ら探求する力 思考力 友だちと共に育ちあう力を育む

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
自ら探求する力・思考力	・保育者主導の保育ではなく、子ども達から芽生えた興味や日々の自由遊びの中からの気づきを大切に拾いながら、1年を通してつながりのある保育活動となる様に取り組んでみた。しかし、コロナ対応により前年度同様の行事内容や、カリキュラムが十分出来なかった。少しずつではあるが、子ども達の気づきを大切に、興味、関心を引き出すように今後に繋げていきたいと思う。
育ちあう力	・日々の保育の中で、人と関わりながら様々な事を経験したり、色々な行事の取り組みを通して「共に育ちあう」と言う感覚をしっかりと味わう事が出来ていたと思う。しかし子ども同士の関わりの中での課題は多く、お互いの思いや考えをきちんと共有し、目的に向かって考えたり、工夫したり、協力出来れば尚良かったと思う。
多様な経験	子ども達は毎日の園生活や行事を通じて少しずつがまんの出来る子になっているように思う。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

子ども達一人ひとりに向き合い個々の育ちにに応じた保育の中で、それぞれの個性を十分に発揮しながら充実した園生活を送っていたと思う。しかし前年度同様、2学期以降は行事中心の保育になる事が多く、保育者指導の内容が増えてしまう傾向を中々改善する事が出来なかった。特に年長組は、それぞれの行事での演目が多いうえに、日々のカリキュラムでの決められた内容をこなしていくだけに、時間が取られてしまい、満足出来る進め方ではなかった様に思う。ただ年中・年少組に関しては、長く続いてきた保育の進め方やカリキュラムを少しずつ見直し、目指す方向へ向けて一歩前進出来た様に思う。今後も引き続き教職員の資質向上、更なる意識改革にしっかりと努めなければならない。経験年数に関わらず、今一度専門性を磨き身につけながら、園全体が共通の目標認識を持ち、子どもの育ちに寄り添い、より良い保育に従事していかなければならない。

その為には、園内外での研修等にも積極的に参加する必要があると思う。

家庭との連携を深め、色々な行事を通じて家庭との連携を深め、メール配信等により、園での様子や考え方を保護者に発信し幼児康育への理解と協力が得られた。コロナ対応でいくつかの行事を中止せざるを得なかった。保護者にとっても保育自体が分かり易く、見え易いものである為に常に心掛けて行きたいと思う。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
カリキュラム内容、各行事の具体的内容、改善	職員間での共通目標を明確にし、出来る部分から改善、実践。保護者との協力をすすめる。
園内研修、園外研修の充実 長期計画 園内ルールの基準の共通理解	姉妹園、近隣園との交流、合同職員会議、合同研修 職員間での相談、意見交換、報告等の徹底、各研修への参加 園児の安全・安心につながる評価基準
地域・家庭との連携及び子育て支援活動の充実	保・幼・小・中学校との連携との継続、発展 未就園児参加行事の継続、発展 日常の保育等の自由見学設定



6、学校関係者の評価

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると思われる。

7、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。